

稚内空港脱炭素化推進計画(概要)

1. 基本的な事項

○空港の特徴

- ・稚内空港は北海道稚内市に立地し、空港周辺は、宗谷湾に隣接する臨海部で全面的に平坦になっている。
- ・滑走路1本と旅客ターミナルビル1棟等を有し、乗降客数20万人、航空貨物93ト、着陸回数1,421回(2019年度)を取り扱っている。

○空港脱炭素化に向けた方針

- ・旅客ターミナルビル、庁舎等において、高効率空調への更新、照明、灯火のLED化等の省エネのほか、再生可能エネルギーの導入などに取り組む

2. 温室効果ガスの排出量

区分	温室効果ガス排出量[t/年]		
	2013年	現状(2019年)	
空港施設	1.0千	0.9千	
空港車両	0.05千	0.07千	
空港施設・車両 計	1.1千	0.9千	
(参考)	航空機	0.7千	0.8千
	空港アクセス	0.5千	0.6千

3. 温室効果ガスの削減目標

2030年度目標	2013年度比 46.0%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル

4. 主な取組

- ・2030年度：ターミナルビル、庁舎の照明LED化、空調設備等の高効率化による省エネや太陽光発電による再生可能エネルギーを導入。
- ・2050年度：太陽光発電設備の拡充及び蓄電池等の導入を検討。



取組の内容及び実施箇所

その他の取組

- ・地域連携・レジリエンス：余剰電力を活用した周辺地域の公共施設への再エネ電力の供給や、災害時の電力供給を検討
- ・意識醸成・啓発活動等：計画の達成状況を数値化して協議会で共有し、空港関係者への理解促進の取組みにつなげる